



山崎しんのすけ

国政ニューズレター vol.05/feb-II

2
2022

1 後手後手のコロナ対策に警告を 蔓延防止等重点措置は機能しているのか

2月18日の議院運営委員会で5度目の質問を致しました。内容としては、ワクチン3回目接種の遅れに対する政府の認識について、蔓延防止等重点措置の妥当性についてです。

ワクチンについては、当初は2回目からの接種間隔を8ヶ月以上としていたものを6ヶ月以上に短縮することに対し、政府の判断が遅れました。このことが、現在の感染者数の高止まりと高齢者の重症化に繋がっていることは明らかで、取り返しのつかない失策となっています。また、なかなか解除できない蔓延防止等重点措置も、クラスターの発生場所が飲食店から高齢者施設や児童施設にシフトする中で、いつまで同じ内容を続けるのか、その妥当性は大いに疑問です。

国民の命と健康を守り、かつ社会経済活動を回していくために、政府には後手後手ではない本気のコロナ対策を示して頂きたいと思えます。



国会日程 / SCHEDULE

- 3月 2日(水) 参議院本会議
- 3日(木)～ 経済産業委員会審議開始
- 6月 15日(水) 通常国会会期末予定
- 7月 10日(日) 第26回参議院議員通常選挙
投票日(見込み)

2 土石流災害を繰り返さない 盛土規制法の改正に望むこと

昨年7月の熱海市の土石流災害を受け、政府は今国会に改正案として「宅地造成及び特定盛土等規制法(通称:盛土規制法)」を提出する予定です。

改正案のポイントは、都道府県知事らが規制区域を指定すること。宅地だけでなく、森林、農地なども規制対象になること。工事の中間・完了検査を実施すること。土地所有者の管理責任を明記すること。法人への罰金を最高3億円とすること(現行法での罰則は、個人法人を問わず最大「1年以下の懲役または50万円以下の罰金」)。などであり、一定の評価はできます。

しかし、盛土に使われる土砂の汚染状態に関する基準がないことや土砂の発生から処分に至る流れを追跡できる仕組みの構築、また最終的な解決手段である行政代執行を行う際の自治体負担を軽減するための財政支援制度の創設など、不十分な点も散見されます。

あの災害を二度と繰り返さないために、規制のレベルを高めていく必要があります。

街頭演説

しんのすけが行く!!
-全県行脚MAP-

静岡県43市区町
(33市区町+2政令市の10区)



3 改正「育児・介護休業法」施行間近 産後パパ育休制度が創設

TOPIC

育児・介護休業法が改正され、4月1日から3段階で施行されていきます。男女とも仕事と育児を両立できるようにするため、産後パパ育休制度の創設や雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置の義務化などが改正の内容ですが、以下2つのポイントをご紹介します。

POINT1 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和



育児休業の場合

現 行
(1)引き続き雇用された期間が1年以上 (2)1歳6ヶ月までの間に契約が満了することが明らかでない



令和4年4月1日より
(1)の要件を撤廃し、(2)のみに ※原則、無期雇用労働者と同様の取り扱い ※育児休業給付についても同様に緩和

POINT2 産後パパ育休制度の創設、育児休業の分割取得

	産後パパ育休(R4.10.1～) ※育休とは別に取得可能	育休制度(R4.10.1～)	育休制度(現行)
対象期間 取得可能日数	子の出生後8週間以内に、 4週間まで取得可能	原則、子が1歳(最長2歳) まで取得可能	原則、子が1歳(最長2歳) まで取得可能
申出期間	原則、休業の2週間前までに申請	原則、1ヶ月前までに申請	原則、1ヶ月前までに申請
分割取得	分割して2回取得可能	分割して2回取得可能	原則分割不可

原油価格高騰対策を急げ

原油価格の高騰が止まりません。とりわけ、ロシア軍によるウクライナ侵攻がそれに拍車をかけ、現在のガソリン価格は13年ぶりの高値を記録しています。我が国は長らくデフレ基調でしたが、足元では食品・衣料品・ガス・電気など、あらゆるものが値を上げ始めていますので、この先の景気動向と国民生活が心配です。

そんな中、我が会派では「トリガー条項凍結解除」を訴えています。これは、3ヶ月連続でガソリン価格が160円/ℓを超えた場合、上乘せされている25.1円分を自動的に引き下げる仕組みが現在凍



結されているので、それを解除して発動しようというものです。一方の政府は原油元売業者に補助金を出し、その結果、小売価格を抑える施策を行っていますが、効果は限定的と見られていますし、市場への介入などの問題も抱えています。

私は、目下の生活を支えるためには効果が明確なトリガーを着実に進めるべきであると考えます。あわせて、二重課税が指摘されるなど、ガソリンにかかる複雑かつ過大な税金のあり方を見直す時期に来ているのではないのでしょうか。

山崎真之輔 プロフィール



- 40歳3児の父親
- 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- 浜松市議会議員(2期)/静岡県議会議員(3期)/参議院議員(1期目)

- 所属会派：国民民主党・新緑風会
- 所属委員会：議院運営委員会、経済産業委員会
- 趣味：スポーツ全般、カラオケ、読書、マラソン、ボードゲーム、eスポーツ

PROFILE

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院会館520号室
TEL.03-6550-0520 FAX.03-6551-0520 Email.shin_sk@me.com
オフィシャルサイト▶ <https://www.shin-sk.net/>



本紙面やSNSではお伝えできない価値ある情報を月に数回お届けします。是非、ご登録をお願いします!